

参考資料

- ・石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）
第1回協議会資料 . . . P1~P5

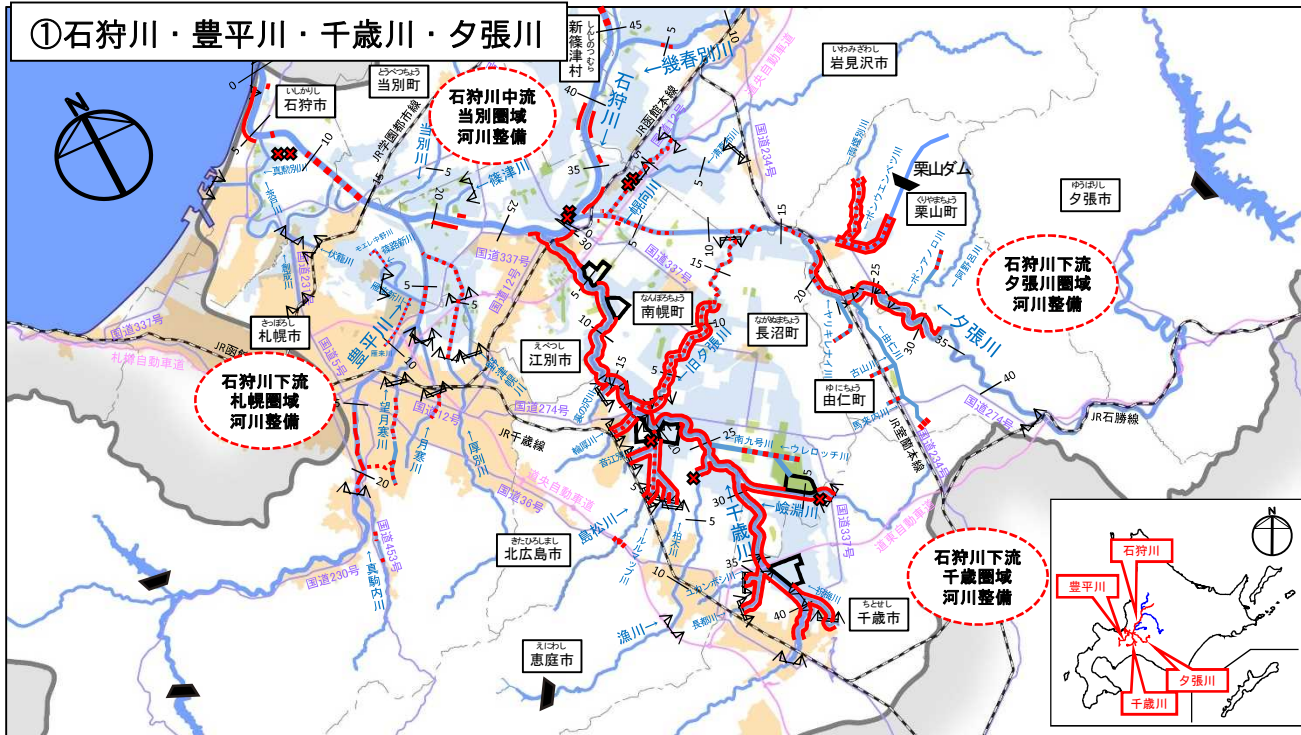
石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）

～250万石の米どころ「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

(1/4)

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、石狩川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、石狩川等の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

①石狩川・豊平川・千歳川・夕張川



■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、河床洗掘対策、樹木伐採、北村遊水地整備、幾春別川総合開発事業、雨竜川ダム再生事業放水路整備 等

■流域における対策

- ・雨水貯留浸透施設の整備(校庭貯留、調整池等)
- ・防災関係機関等の業務継続計画策定・促進等
- ・河川防災ステーション等のまちづくりや防災等の地域計画と一体となった整備
- ・利水ダム等58ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、北海道、電力会社、土地改良区など) 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策

- ・水害リスクの高い区間の監視体制の整備
- ・防災無線等を活用した情報発信の強化
- ・全流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施
- ・市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動の継続実施
- ・国・北海道・市が連携した各種タイムラインの普及促進
- ・緊急排水作業の準備計画策定 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

- 凡例
- ✖ 堤防決壊箇所(S56.8洪水実績*)
 - 堤防整備
 - ⋯ 河道掘削
 - 河床洗掘対策
 - 浸水範囲(H13.9洪水実績)
 - 浸水範囲(S56.8洪水実績)
 - 主要都市の市街地
 - ⌒ 大臣管理区間
 - ⌒ 2-7区間 ※国管理河川区間



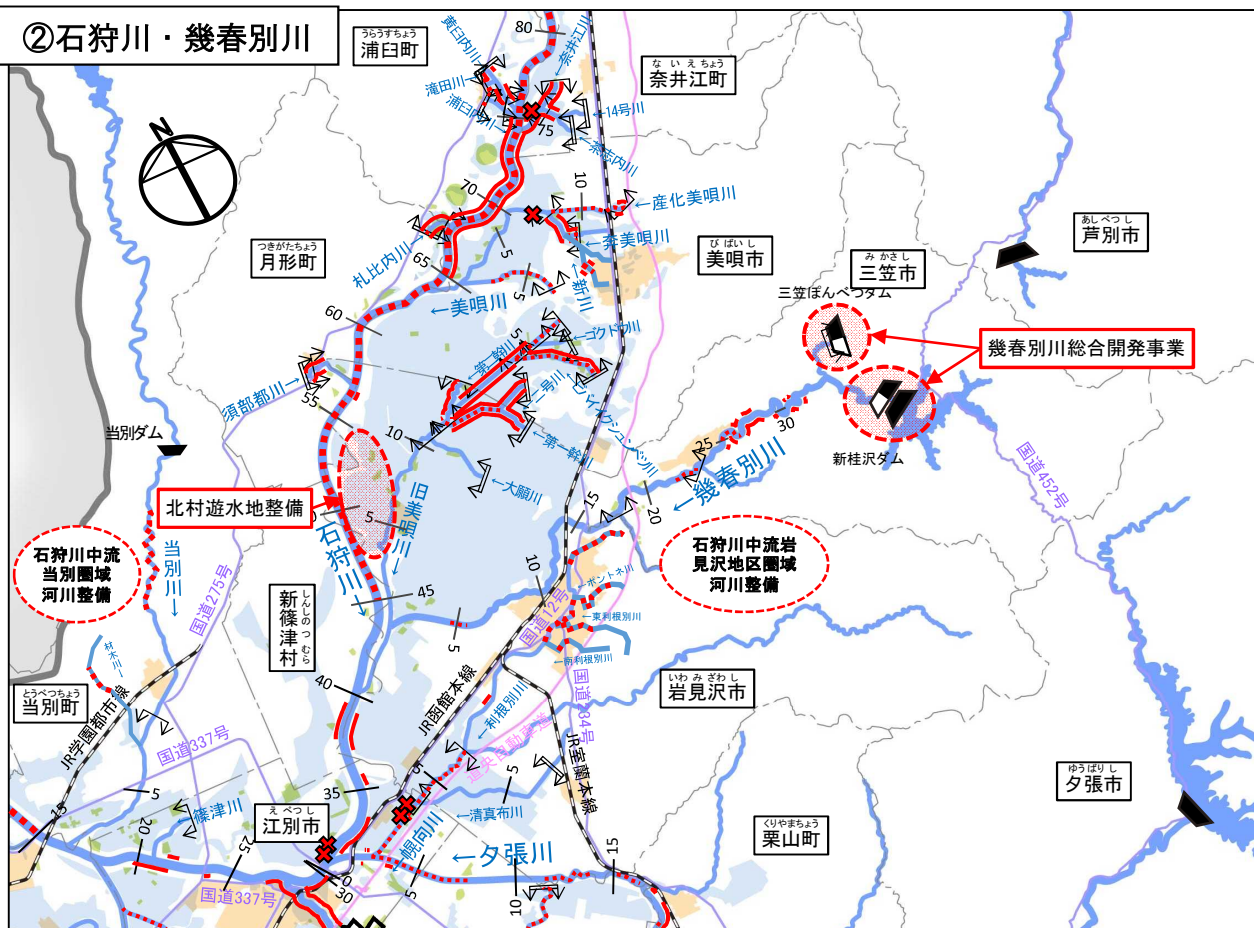
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）

～250万石の米どころ「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

[2/4]

②石狩川・幾春別川



■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、河床洗掘対策、樹木伐採、北村遊水地整備、幾春別川総合開発事業、雨竜川ダム再生事業放水路整備 等

■流域における対策

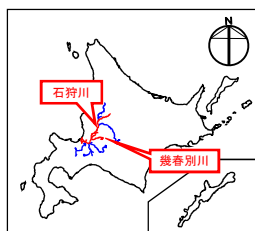
- ・雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留、調整池等）
- ・防災関係機関等の業務継続計画策定・促進等
- ・河川防災ステーション等のまちづくりや防災等の地域計画と一体となった整備
- ・利水ダム等58ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、北海道、電力会社、土地改良区など） 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

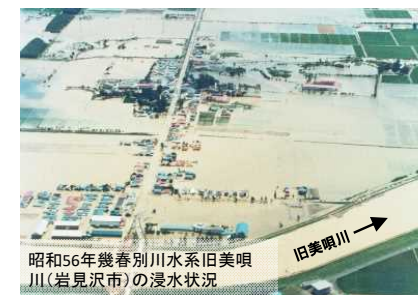
■ソフト対策

- ・水害リスクの高い区間の監視体制の整備
- ・防災無線等を活用した情報発信の強化
- ・全流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施
- ・市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動の継続実施
- ・国・北海道・市が連携した各種タイムラインの普及促進
- ・緊急排水作業の準備計画策定 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



凡例	
	堤防決壊箇所 (S56.8洪水実績*)
	堤防整備
	河道掘削
	浸水範囲 (H13.9洪水実績)
	浸水範囲 (S56.8洪水実績)
	主要都市の市街地
	大臣管理区間
	2-7区間 ※国管理河川区間



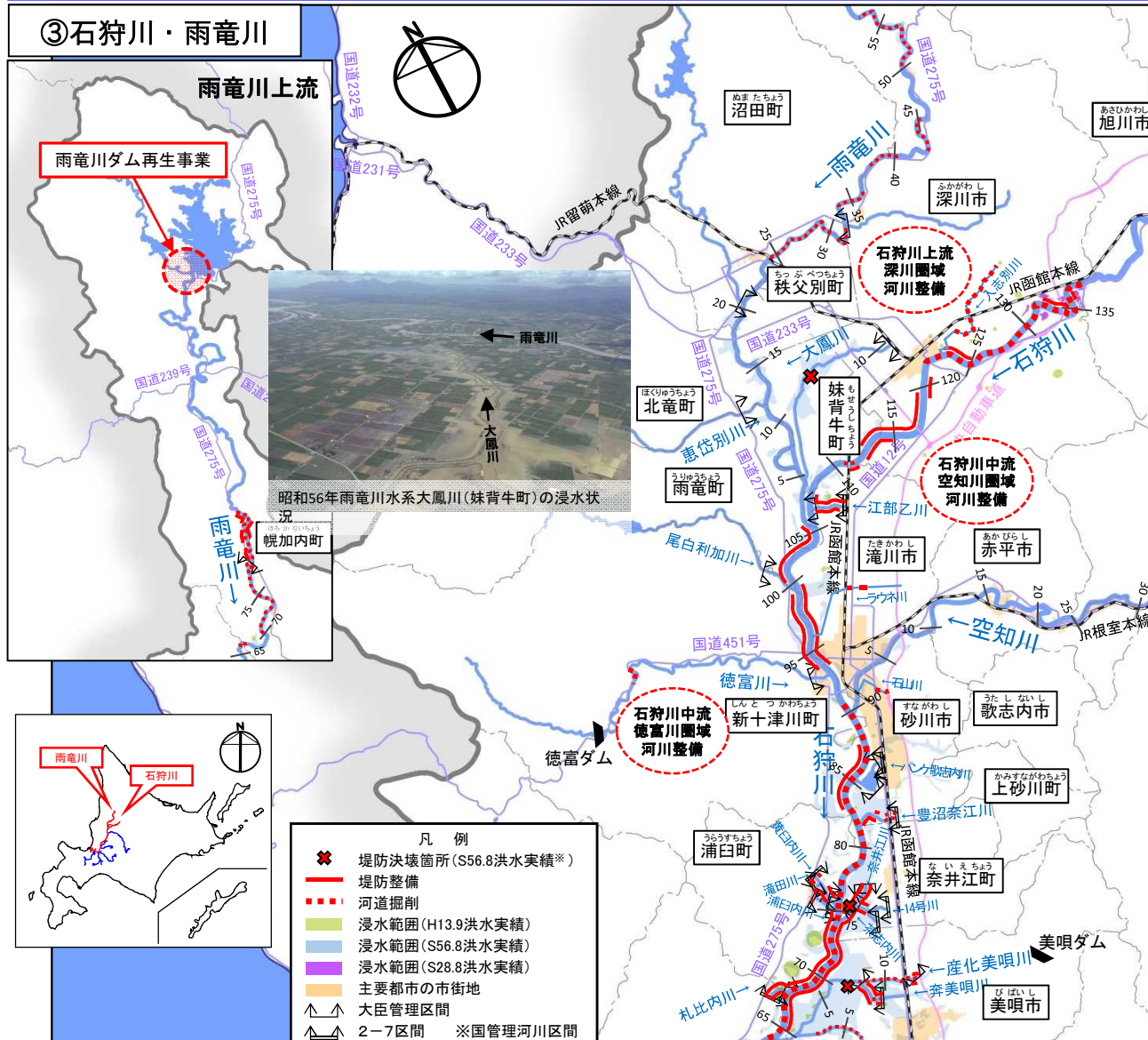
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）

～250万石の米どころ「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

[3/4]

③石狩川・雨竜川



■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、河床洗堀対策、樹木伐採、北村遊水地整備、幾春別川総合開発事業、雨竜川ダム再生事業、放水路整備 等

■流域における対策

- ・雨水貯留浸透施設の整備 (校庭貯留、調整池等)
- ・防災関係機関等の業務継続計画策定・促進等
- ・河川防災ステーション等のまちづくりや防災等の地域計画と一体となった整備
- ・利水ダム等58ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 (関係者: 国、北海道、電力会社、土地改良区など) 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策

- ・水害リスクの高い区間の監視体制の整備
- ・防災無線等を活用した情報発信の強化
- ・全流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施
- ・市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動の継続実施
- ・国・北海道・市が連携した各種タイムラインの普及促進
- ・緊急排水作業の準備計画策定 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）

～250万石の米どころ「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

